

会 議 録

|                   |   |
|-------------------|---|
| 会 議 名             | 第60回野田市市民活動支援センター運営協議会  |
| 議題及び議題毎の公開又は非公開の別 | <p>1 議案</p> <p>(1)令和8年度市民活動支援センターの事業計画(案)について(公開)</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1)令和7年度前期の活動報告と令和8年度以降に向けて(公開)</p> <p>①開催結果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会(助成金・パソコン・NPO法人)</li> <li>・「市制施行75周年記念事業 のだ市民活動ふれあいフェスティバル2025」第8回市民活動元気アップふえすた</li> </ul> <p>②中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回こまめカフェ</li> </ul> |
| 日 時               | 令和8年1月29日(木) 午後2時から午後4時10分まで  |
| 場 所               | 野田市総合福祉会館3階 第3会議室   |
| 出席者氏名             | <p>会 長 立山 喜弘</p> <p>委 員 岩井 勝治、加藤 眞智子、名代 ちよ子、辻 朝子、神山 憲次郎、渡邊 勝男、矢作 勝美</p> <p>事務局 市民生活部長 池田 亜由美</p> <p>市民生活課長 須賀 良平</p> <p>市民生活課長補佐 岡田 敦子</p> <p>市民生活課コミュニティ係長 鈴木 智子</p> <p>支援補助員 向佐 美知子</p> <p>主任コーディネーター 釜田 正雄</p> <p>コーディネーター 荒井 ハツヨ</p> <p>コーディネーター 藤野 孝子</p> <p>コーディネーター 武原 忠志</p>  |
| 欠席委員氏名            | 北倉 恵美子、芝田 栄太郎   |

|   |   |
|---|---|
| 傍 聴 者   | 1名                                      |
| 議 事   | 第60回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。 |
| <p>1 開会</p> <p>事務局から開会を宣言。</p> <p>会議の成立について報告。</p> <p>会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。</p> <p>2 市民生活部長挨拶</p> <p>池田市民生活部長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>議案(1) 令和8年度市民活動支援センターの事業計画（案）について</p> <p>議長（立山会長）</p> <p>議案(1)について説明を求めた</p> <p>池田部長</p> <p>議案(1)「令和8年度市民活動支援センターの事業計画（案）について」を説明した。</p> <p>議長（立山会長）</p> <p>議案(1)について、委員に意見を求めた。</p> <p>辻委員</p> <p>登録団体交流会を市民活動ふれあいフェスティバル（以下、フェスティバルという。）で開催するということか。</p> <p>池田部長</p> <p>会場を設けて開催するのではなく、フェスティバルを団体の交流の場として位置づけ、準備段階での打合せ時等と同じ活動分類の市民活動団体が集まったりすることで、ひいては団体交流につながるのではないかと考えている。</p> <p>議長（立山会長）</p> <p>準備段階から市民活動同士が協議したり話し合うことはよいと思う。しかし、そのようにできるかどうかを今から団体へ声かけしなければならないのではないか。</p> <p>渡邊委員</p> |   |

フェスティバルを交流の場とし、令和7年度に実施していた団体交流会は令和8年度以降見直すということか。

池田部長

そのとおりである。

名代委員

フェスティバル当日は参加団体は忙しく、交流の時間をとることができない。もしフェスティバルを交流の場とするのならば、余裕を持たせないと難しいと思う。

辻委員

名代委員に全く同感である。フェスティバルは市民活動団体の発表・周知してもらおう場という認識であり、市民に対し市民活動への参加を呼びかけるのが目的としては妥当であると感じる。交流の場は別の機会を設けるのがよい。

釜田主任コーディネーター

今年度までは市主体でフェスティバルを実施していたが、令和8年度からは実行委員会形式となる。企画立案の段階から活動分野ごとに集まる機会を持つことで考えており、ここでいう団体交流とは、フェスティバル当日だけでなく準備等を含めフェスティバルに係る活動全体を通じて交流をしていくということである。

このほか、今年度開催されたフェスティバルにおいて、実演・展示・相談のグループでは交流の場となっているという意見も多くあった。舞台発表や実演のみの団体は難しいと思うが、今までのように打ち合わせ会議のみではなく、全体を通じた交流ができるようにしていきたい。

岩井委員

各委員の意見はもっともだが、市が新しい取組を提案したのであれば、それを試みてはどうか。

議長（立山会長）

岩井委員の意見に賛同する。

今後は活動分野等の団体ごとに集まって相談しながら、どのような発表や展示をしたらよいかを話し合い、当日のみでなく日頃から交流ができればよいと思う。

また、こまめカフェについては複数回の講座になるのか。

池田部長

鎌ヶ谷市で開催された「はじめの一步講座」を参考にしながら開催したいと考えている。開催方針についてはこれから検討を進めるが、講座には県市民活動アドバイザーや市民活動支援センター職員による講座、実際にNPO団体を立ち上げた方たちから体験談などを交えながら、市民の皆さんが参加してみたいと思えるような講座にしていきたい。

議長（立山会長）

若い世代や市民活動に興味をもってくれる人に市民活動を知ってもらうには、こまめカフェもよいと思う。

池田部長

小学校の土曜授業は令和7年度をもって終了することから、次年度からは子供や子育て世代が土曜日の過ごし方に様々な選択肢を持つこととなる。鎌ヶ谷市の市民活動講座では全3回とも土曜日開催としており、こういったことも踏まえて若い世代が市民活動に参加するきっかけ作りとなるように検討してまいりたい。

神山委員

1月17日に鎌ヶ谷市で開催された「はじめの一步講座」の参加人数と対象者は。

池田部長

把握していない。

松戸市ではこれから何かを始めたいと考えている方を対象に、地域活躍塾と題して1年間で全15回の講座を実施している。市民活動支援センターの職員が訪問し視察したが、参加者は若い方から60代までと幅広い年代が20～30名参加していた。

議長（立山会長）

市民活動団体も高齢者が多くなっている。若い方を取り入れていきたい。

渡邊委員

他市ではオンライン講座も多くみられるので、野田市でも取り入れてみてはどうか。若い世代の受講者が増えると思う。

また、土曜授業が廃止となることにより、これまでと違った活動はあるのか。

池田部長

市においては、学習支援としてこども未来塾等、対象を拡充して子供の選択

肢を増やせるようにしたいと考えている。

渡邊委員

それはサタデースクールのようなものか。

池田部長

サタデースクールは継続する。

加藤委員

市民団体が小学校に行って、子供たちにボランティアを紹介するような講座を開催できないか。子供から親に伝わることで、子育て世代の意識も変わってくると思う。以前、私たちも小学校を訪問し、ボランティアの紹介をしたが、「ボランティアが大事だということを知った」「自分でも何かやってみたい」という気持ちを持つ子供もいた。

親世代に対しては、ボランティアそのものをアピールするのではなく、例えばキャッチコピーで表すこともいいと思う。以前「あなたの笑顔が最高のボランティア」というキャッチコピーで開催し、100名ほど参加者がいた。普通の生活の中でもボランティア活動となる行動をしていることを伝えることで、ボランティアに参加しやすくなると思う。

ボランティア団体の多くでは、会員数が減少している。阪神淡路大震災以降、ボランティア団体は急増したが、現在は高齢化しており後継者も育っていない。

辻委員

今回の案はとてもよいと思うが、講座やフェスティバルなど全ての事業について、広報が非常に重要だと感じる。

例えば、講座開催のチラシがいきなり届くよりも、その前に市報で市民活動を紹介する特集を掲載したりすることで、年齢に関係なく参加できることや、実際にどんなことをしているかを紹介することで、フェスティバルへつないでいくことが大事だと思う。イベントや講座の前に広報を行い、認知度を高めてから開催するのはどうか。

議長（立山会長）

事務局で検討してほしい。

また、補助金の勉強会だが、事務的なことよりも実践的なことを勉強した方がよいと思う。

岩井委員

是非勉強会を開催してほしい。補助金申請書類の作成は特に勉強してもらいたい。

議長（立山会長）

パソコン学習会は、座学中心から出張講座のような実施方法となるのか。

名代委員

団体ごとに学習できるのは良い。

議長（立山会長）

高齢者の中には、パソコンを使うことに抵抗がある方が多くいる。是非高齢者がパソコンを使うことができるように教えてほしい。

岩井委員

現在、ホームページを運営している団体はどれほどか。

向佐支援補助員

登録団体の1／5程度かと思われる。あえてホームページを持たず、主にSNSを活用している団体も見受けられる。どちらがよいかではなく、団体それぞれに何を活用すべきかを判断することが大事であり、そういったことをセンターで助言していけたらと思う。

岩井委員

以前、他県の企業がホームページを運営しており、それにより社員募集をすると相当数の応募があったと知った。ホームページの効果に驚いたが、そういった勉強会を開催することはよい。

情報発信の手法は日々変化しているので、ついていくことは大変だと感じる。

加藤委員

情報発信も、パソコンで見るようなものより、スマホなどの多くの人が持っているデバイスの方がよいのではないか。

議長（立山会長）

パソコンのほか、スマホについても学習会等できないか。

また、使い方が分からない場合は、センターへ問い合わせてもよいか。

向佐支援補助員

学習会で使用するスマホの準備が難しい。個別の相談はスマホのことについても受け付けている。

渡邊委員

「令和8年度は、コーディネーターがセンターで相談を待つ姿勢から、積極

的に団体の活動の場に出向き」とあるが、時期や方法等が決まっていれば教えてほしい。

池田部長

団体が実施するイベント等の活動の場に行ったり、困りごとの相談があれば現地で様子をうかがったりする等、臨機応変に対応してまいりたい。

議長（立山会長）

ボランティア団体から要請があれば、出張講座も対応できるか。

荒井コーディネーター

出張講座という形式になるかは未定だが、何度も来ていただいたが状況が分からない場合は訪問することもあった。実際に活動している場所や内容が理解でき、団体の悩みも理解しやすくなったケースがある。令和8年度は意欲的に実施していきたい。

名代委員

団体登録の更新については3年更新とするとのことだが、更新時期を忘れてしまう可能性はないか。

池田部長

更新のほか、登録内容の変更の有無を年1回は照会する。

岩井委員

変更がなければ、ずっと更新しなくてもよいというわけではないのか。

池田部長

団体とセンター間において、つながりを持つという意味でも3年更新としたい。

議長（立山会長）

センターや当協議会、団体とが相談しながら改善していけばよいと思う。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、議案事項(1)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(1)のとおりとする。

協議事項(1)令和7年度前期の活動報告と令和8年度以降に向けて

議長（立山会長）

協議事項(1)について、説明を求めた。

荒井コーディネーター、向佐支援補助員、武原コーディネーター

協議事項(1)「令和7年度前期の活動報告と令和8年度以降に向けて」を説明した。

議長（立山会長）

協議事項(1)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

NPO法人学習会では11団体12名の参加とあり、多くの参加者がいるのであれば、今後も続けてほしい。今後学習会は続けるのか。また、対象は。

荒井コーディネーター

今年度は7月と10月の2回、学習会を開催した。来年度はNPO学習会という名称で実施する予定である。法人格を持っていない団体も多いので、市民団体向けの学習会として実施する。

議長（立山会長）

任意団体を含めるのはよいことだと思う。

渡邊委員

私もこの学習会に参加した。この学習会をとおし、活動資金作りには大事なことがあることが理解でき、資金をもらうだけでなくそれにふさわしい活動をするべきだと感じた。また、講師が身近なところに声がけをする等、関係性が大事であるということを改めて認識した。

この学習会の受講者のうち、クラウドファンディングを活用したという事例があるか。

荒井コーディネーター

学習会受講後の活用事例は把握していない。

目標額を達成しなくてもクラウドファンディングで集めた額を受け取ることができるプラットフォームもあると聞く。今後調べてみたい。

議長（立山会長）

パソコン学習会についてだが、スマホを持ち込んで相談をすることは可能か。

向佐支援補助員

市民活動に活用できるよう、スマホを使った講座を検討中である。画像・動画編集はパソコンよりスマホの方が簡単であり、そういったことをスマホで行

う等いろいろな可能性があると思うので検討していきたい。

議長（立山会長）

パソコン学習会で「オンラインでの情報発信について」をテーマにしているが、ニーズはあるのか。Z o o m等の講座はどうか。

向佐支援補助員

多くの方から、SNSとはどういうものかという問合せがある。そもそもどんなものなのかを明確に理解していないのではないかと考え、本講座を実施した。

Z o o mでの講座開催を望む声はない。日中に会場へ来ることができる方は限られてくると思うが、今後センターはどういうことができるかを検討する必要があると感じる

辻委員

講座等はオンラインではなく対面がよいと思う。

議長（立山会長）

フェスティバルは参加者が思うように増えないが、連休中日であることが原因か。令和8年度の開催日は11月22日との説明であったが、この日も中日となっている。

また、予定集客数1,500名に対し実際は950名であり、予定より大幅な減である。今後、集客数を増やすことを検討していかなければならないと思うが、どのように考えているか。

釜田主任コーディネーター

来場者が少なかったということについては、事前の周知が重要であったと考える。また、来場者に対しては、長時間滞在していただきたいと考えると、昼食や休憩場所等、環境を整えることを検討しなければならない。

議長（立山会長）

スタンプラリー参加者は多くなっているが。

釜田主任コーディネーター

スタンプラリーについては、やはり参加賞を目的にした来場者も見受けられた。集客という意味では効果はあったが、そういった方にどうやって滞在時間を延ばすかの工夫が必要である。

議長（立山会長）

子供が来て参加できるような内容になれば親も一緒に来てくれるようにな

る。子供中心のイベントを考えていけば、集客は増えると思う。

名代委員

キッチンカーに来てもらうことも検討してはどうか。子供連れの方や一日中イベントに参加したい方などには、食事できる場所や店が必要だと思う。

議長（立山会長）

食べることを楽しむために来場するというのも集客には大事であるので、検討をしてほしい。

議長（立山会長）

フェスティバルについては、先にも説明があったとおり令和8年度は11月22日日曜日開催ということだが、土曜日開催というのはどう考えるか。

池田部長

開催前日及び当日は野田ガスホールを予約する必要がある。21日土曜日開催とすると、既に前日20日は別団体が予約しており準備が難しい。当日に設営後開催することも可能であるが、今回は日曜日に開催して令和9年度に土曜日開催を含めた話し合いをしてほしい。今までは土曜日授業があったため、子供たちに参加してほしいと考え日曜日に開催していたと思うが、次回からは土曜日開催でも子供の参加には支障を来さないと思う。

岩井委員

開催日については、代表者連絡会議で話し合ってはどうか。

荒井コーディネーター

土曜日開催とした場合、参加について団体としてはどう思うか。

名代委員

前もって日程が決定されれば、団体はその日に合わせて準備する。岩井委員の意見のとおり、代表者連絡会議で話し合してほしい。

議長（立山会長）

事務局で日程を決定し、早めに周知していただければよい。

池田部長

21日土曜日開催の場合、総合福祉会館は20日金曜日から準備が可能であるが、野田ガスホールは当日土曜日9時から準備となる。

荒井コーディネーター

市民活動団体の中では、若い世代が集まった団体のイベントは日曜日開催が多い。

#### 名代委員

土曜日開催も、日曜日開催もそれぞれに楽しいので、代表者連絡会議で話し合って日程を決めてもらいたい。

#### 池田部長

代表者連絡会議で方針を決定し、市民活動支援センター登録団体へ改めて日程を確認する。

#### 議長（立山会長）

どちらの開催日でも、やる気がある人は参加する。いろいろな意見があると思うが、今後反映していければよいと思う。

#### 辻委員

3連休の中日より、普通の土曜日に開催する方がよいと思う。秋は旅行や外出等のイベントシーズンであるためか、子供の来場者が少ないように見えた。東京理科大学の学生に協力してもらい、子供のための科学教室を開催したりできたらよいのではないか。また、先に意見のあった飲食についても、野田市産業祭で多くの来場者だったとのことだが、たくさんの飲食や物販があるからだと思う。フェスティバルでも飲食や物販の広報を行い、親子連れでの参加を呼びかけられたらよい。

質問だが、今年度の予算について3つのイベントの合計額が536,000円とのことだが、印刷費が多いのか。

#### 須賀市民生活課長

フェスティバルでは、ポスター展ほか様々なイベントを実施している。予算はポスター展の受賞者記念品、参加賞、屋外テントや椅子借上料、横断幕等の消耗品やスタンプラリー参加賞の購入費用、リーフレット印刷費等である。

#### 辻委員

流山市の市民活動支援センターのチラシは、目を引くデザインとなっている。チラシから市民活動に興味をもってもらえるのはどうか。野田市でも是非このような形で実施するとよいと思う。

#### 加藤委員

そのチラシの配布方法は。

#### 辻委員

配布方法は新聞折り込み、公共施設でも配架されていた。

#### 荒井コーディネーター

市主催か。

辻委員

主催は、流山市市民活動支援センターと生涯学習センターである。

武原コーディネーター

さいたま市では全戸配布だが、回覧板で周知する。

加藤委員

野田市では自治会に加入しないと回覧板が回ってこない。

辻委員

チラシはまず人の目を引くことが大事であると思うので、予算について質問した。最近ではカラー印刷が安価であると聞いたので、活用したらどうかと思い流山市のチラシを参考に持参した。

名代委員

入場無料と記載されているのもよい。

議長（立山会長）

登録団体に対し、フェスティバルの事前チラシを渡したか。また、学校には配布したか。

釜田主任コーディネーター

1団体あたり50部渡した。このほか、公民館や福祉センター、子ども館、学童保育所、図書館、コミュニティ会館等に配布した。なお、学校には配布していない。

名代委員

是非学校にも配布してほしい。

議長（立山会長）

公民館にはポスター掲示したのか。また、ポスティング等有効な広報をしてほしい。広報は1回だけではなく、開催間近にもう一度広報する等しないと集客は望めないと感じる。

名代委員

スーパーマーケット等、私たちがよく行くようなところで広報できるとよい。

加藤委員

郵便局でも掲示できる。

池田部長

実行委員会に参加する団体も、ポスター掲示していただける場所を探してほしい。

議長（立山会長）

公民館では、チラシのほかポスター掲示しているのか。自治会に対して周知はどうしているのか。

池田部長

公民館等ではポスター掲示をしている。

須賀市民生活課長

自治会に対しては市報で周知している。

議長（立山会長）

市報は全員に届くのか。

須賀市民生活課長

自治会員には自治会を介して届くが、そのほか5人以上の文書配布団体へも配布している。若しくは公共施設で入手する等の方法がある。

池田部長

辻委員も言っていたが、フェスティバルだけ参加というよりも、年間を通して市民活動を周知できればと思う。例えば土曜日授業は廃止されたが、その代わりに市民活動の参加などを紹介する等、センターでも検討をしていきたい。

議長（立山会長）

中間報告「こまめカフェ」だが、鎌ヶ谷市の「はじめの一步講座」を参考に開催するのか。

武原コーディネーター

今年度は今までどおりの形式で開催する。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、協議事項(1)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、協議事項(1)のとおりとする。

須賀市民生活課長

市民活動支援センター運営協議会委員は令和8年3月末での任期満了となる。立山委員ほか4名には引き続き委員に就任していただくことで了解を頂いた。

なお、岩井委員、加藤委員、名代委員の3名からは退任の申出があった。  
また、公募委員である神山委員、本日欠席の矢作委員も退任となる。

岩井委員

退任にあたり、挨拶をした。

加藤委員

退任にあたり、挨拶をした。

名代委員

退任にあたり、挨拶をした。

神山委員

退任にあたり、挨拶をした。

須賀市民生活課長

3月末日をもって釜田主任コーディネーターが退職する。

釜田主任コーディネーター

退職にあたり、挨拶をした。

鈴木係長

市民活動支援センター運営協議会の公募委員については、1月7日から2月5日までを期間として募集している。1月1日及び15日号で募集記事の掲載をし、あわせて、市民生活課、各出張所、公民館に募集要項を配架、市ホームページにおいても募集をしている。なお、1月28日時点で応募者はない。

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和8年4月28日を予定している。

議長（立山会長）

会議の閉会を宣言した。